

農業
振興課

庄原市から9頭が県代表に！

第12回全国和牛能力共進会広島県最終選抜会（種牛の部）

第12回全国和牛能力共進会広島県最終選抜会（種牛の部）が7月12日、三次家畜市場で開催され、庄原市から9頭が選抜されました。

第12回全国和牛能力共進会は、10月6日（木）～10日（月・祝）に鹿児島県で開催される、5年に一度の大イベントで、「和牛のオリンピック」といわれています。

今回は、その広島県代表を決定する選抜会で、本市からは17頭が候補牛として出品されました。

審査の結果、種牛の部広島県出品枠の14頭のうち、9頭が県代表牛として選ばれました。（下表のとおり）

令和元年度から、市や庄原農業協同組合など関係機関で対策協議会を設立し、庄原市を和牛産地として全国にPRするため、大会に向けた取り組みを進めています。

代表牛と出品者の皆さんへの応援をお願いします。

なお、肉牛の部の出場牛は8月下旬に決定する予定です。



審査の様子

庄原市からの広島県代表牛と出品者

出品区	名号	出品者（敬称略）	住所
第3区若雌の2	ひでみの2	大迫 晴由	峰田町
第4区繁殖雌牛群	かず		
		みやま 66	石田 朋大
第5区高等登録群	じんよし 591	大迫 一三	峰田町
	じんよしふじ 1		
	じんよしふじの2		
第6区総合評価群	たけわりえぼし	(農)ファーム金田	口和町
	たなか5の10	長田 直久	東城町
特別区高校及び農業大学校	さらしば	広島県立庄原実業高等学校	西本町

自治
定住課

地域の新しい力！

地域おこし協力隊員辞令交付式



辞令交付式の様子

市は7月1日、地域おこし協力隊員として活動してもらう古川麗さんへ辞令を交付しました。

古川さんは、株式会社庄原市農林振興公社でイノシシの処理、食肉の販売促進や、廃棄物の有効活用および商品化に取り組みます。また庄原市のジビエについて、インターネットやSNSなどを活用し、情報発信を行う予定です。

木山耕三市長は「古川さんは以前本市に勤務されたことで庄原のファンとなり、今回地域おこし協力隊員として戻ってくることを決断したと聞きました。地域の資源と魅力を取り入れながら、課題解決のため、地域おこし協力隊員として活躍してもらえることを、大いに期待しています」と、激励の言葉を贈りました。

古川さんはこれから各地域で活動することになりますので、皆さんのご支援をお願いします。（古川さんについては、3ページ「庄原が好き」でも紹介しています）

期間中、なみか・ほろかカードを提示してお買物をしたら

5,000 ポイント進呈

ポイント特典

なみか・ほろか オリジナル企画 開催

キャンペーン期間 9/1(木) ▶ 10/31(月)